

Day

2

タイトル

2. SDGsのためのデータ収集
(5) ナイジェリア、アブジャ市におけるSDG指標11.6.1のためのデータ収集活動報告

発表者

ナイジェリア国アブジャ環境保護局 主席都市計画官 Abdullahi, Atiku Abubakar Audu

発表者は、ナイジェリアのAbujaでのSDG指標11.6.1のためのデータ収集にかかる活動について報告した。発表内容は、1) イントロダクション、2) SDG指標11.6.1用のサブ指標、3) サブ指標に必要なデータ、4) 現況調査、5) 必要な指標算出のためのデータ収集と分析、6) 2018年の連邦首都(FCC)の廃棄物フロー、7) WasteAwareによる5段階評価、8) 計算結果、9) 課題と対策、などを含む。

発表者は、まず、国の一般的な情報と連邦首都圏(FCT)とFCCの違いを説明した。次に、SDG指標11.6.1を算出するために設定したの3つのサブ指標(サブ指標1)ごみ収集率、サブ指標2)ごみ収集サービス率、サブ指標3)処理処分を伴う収集量)について述べ、これらのサブ指標を得るためには、人口(予測を含む)、原単位発生量(kg/人/日)、ごみ発生量(トン/日)、収集量(トン/日)、リサイクル量(トン/日)、市の総世帯数、及びごみ収集サービスを受けている世帯数などのデータが必要であることを説明した。

要約

廃棄物量・組成調査(WACS)は、2018年にJICAの支援を受けてアブジャ環境保護委員会(AEPB)が実施したもので、処分量は537トン日であり、家庭系廃棄物の発生量は、高所得地域では0.36kg/人日、中所得地域では0.44kg/人日、低所得地域では0.69kg/人日であり、家庭系廃棄物は1,145.6トン日、事業系廃棄物は39.7トン日、道路廃棄物は6.6トン日、合計1,191.9トン日と推計された。サブ指標1は廃棄物収集率45.1%と推定され、FCCのリサイクル率は3.1%と推定された。廃棄物収集サービスにアクセス可能な世帯数に基づいて、サブ指標2の収集サービス率は9.0%と推定された(これは、AEPBが現在達成している収集エリアカバー率80%を反映するものではない)。尚、これらの世帯はAEPBが管理する廃棄物収集料金/手数料徴収の対象となる。サブ指標3の処理処分を伴う収集量は48.2%と推定された。この推定には、家庭、事業者、道路などから排出される廃棄物量とリサイクルされた廃棄物の量が採用された。発生した全都市廃棄物の推計は、人口推計、家庭廃棄物および事業所の原単位発生量およびその予測、事業所数などから算出された。

最後に発表者は、次のように述べた。特にアフリカ諸国では農村が多いため、これらの地域の正確なデータはないが、ごみ収集サービス率に、これらの地域も含むべきである。